



YAMAHA

アコーディオン

ACCORDION

取扱説明書

このたびはヤマハ アコーディオンをお買い上げいただき、誠に
ありがとうございます。

ご使用にあたって、この取扱説明書をお読みいただき、末永く
ご愛用くださいますようお願い致します。

なお、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、
保証書とともに大切に保管いただきますようお願い致します。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

! : 「必ず実行」してくださいの強制を示します。

ⓧ : ~しないでくださいという「禁止」を示します。

■「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、
危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「△ 警告」と
「▲ 注意」に区分して掲載しています。

警告

誤った取り扱いをしたときに、命に関わる、
または重傷を負う事故が想定される内容です。

 火気には近づけないでください。

アコーディオンの表面にはセルロイドが使用されており、
火気には近づけると火災が発生する可能性があります。

 肩かけバンドが破損したままで使用しないでください。
けがなどのおそれがあります。

 ヤマハ推奨の肩かけバンドを使用してください。
推奨のバンド以外を使用した場合、落下により、けが
などのおそれがあります。

注意

誤った取り扱いをしたときに、軽傷を負う事故、
または物的損害などが想定される内容です。

 湿気の多いところや、極端に乾燥した環境に置かない
でください。

音が出にくくなったり、雑音が発生する可能性があります。
特に暖房による乾燥のしすぎにはご注意ください。



直射日光にさらさないでください。

屋外への持ち出しが可能ですが、不必要に日光にさらすと変色のおそれがあります。



高温環境(40℃以上)に保管しないでください。

リードが傷むおそれがあります。特に夏期、日中に車内へ放置すると80℃を越える場合があり、破損につながりますので絶対におやめください。



楽器の上に重いものを載せたり、腰掛けたりしないでください。

故障や破損の原因になります。



本体をお手入れする際、シンナーやアルコールは絶対に使用しないでください。

本体や鍵盤が変色・変質する原因となります。



使用後は、柔らかい布でよく拭いた上でケースに入れて保管してください。

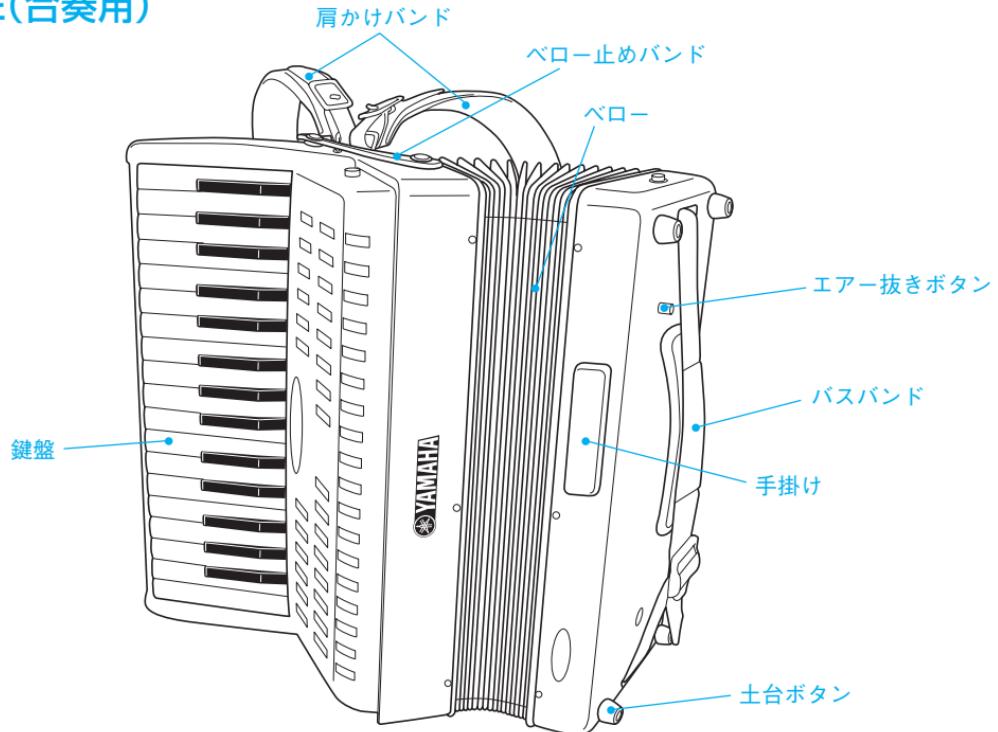
アコーディオンはリード楽器ですから、ゴミやホコリが故障の原因になります。ケースに入れることでゴミやほこりを避けるばかりでなく、ぶつけてこわしたりする危険も少くなります。

付属品（お確かめください）

- ・ソフトケース×1
- ・肩かけバンド×1
- ・保証書×1
- ・取扱説明書（本書）×1

各部の名称

A-32E(合奏用)

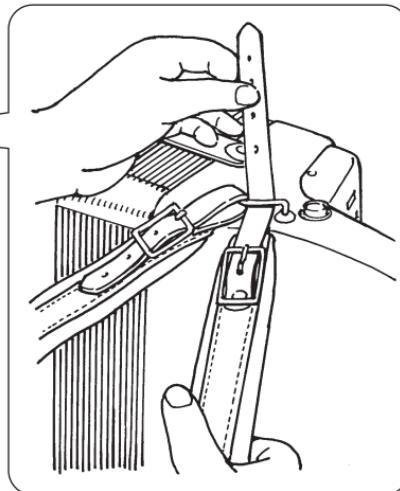
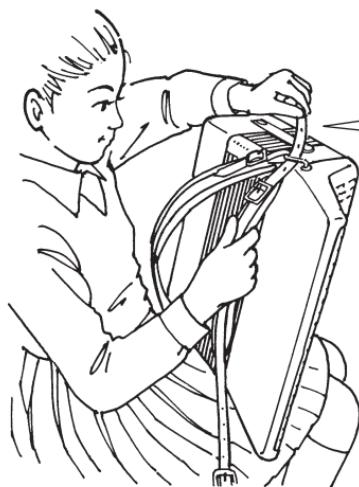


演奏の前に (肩かけバンドのつけ方)

① いすに腰かけてアコーディオンをひざの上に
しっかりとのせます。

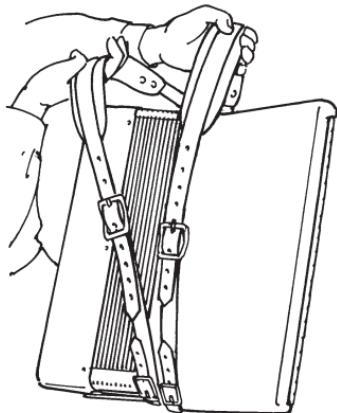
② 肩かけバンドの上側を取り付けます。
バンド吊り金の下からバンドをくぐらせ、
バックルに通して固定します。

③ 次に下側のバンドを取り付けます。
まず楽器を横にするか半回転させて下側の吊
り金がよく見えるようにします。
上側と同様にバンド吊り金の下からバンドを
くぐらせ、バックルに通して固定します。



-
- ④ 肩かけバンド中央のバックルで、からだに合わせて長さを調節しましょう。

このとき、楽器全体がこころもちからだの左側によるように、右肩にあたる方のベルトを少し長めにしてください(穴の数で1~2個)。こうしておくと、弾いたときにペローがからだにされることはありません。



⚠️ 警告

アコーディオン肩かけバンドについては、必ずヤマハ推奨のバンドをご使用ください。推奨のバンド以外のご使用はけがなどの原因となります。

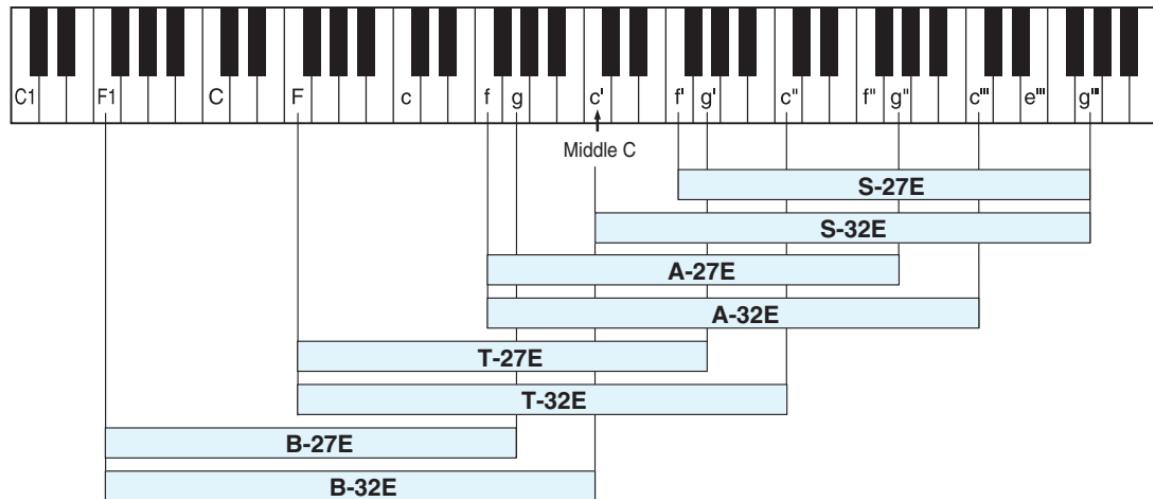
持ち運びのしかた

- 1) ケースへ入れるときは、肩かけバンドを持つて静かに入れましょう。
肩かけバンドはそのまま楽器の上に重ねて、
ケースのファスナーを閉めます。
ファスナーは、外側にひっぱるようにすると
楽に閉められます。
- 2) ケースのベルトをたためば、手に下げて運ぶ
ことができます。
- 3) ケースのベルトをのばせば、肩にかけて運ぶ
ことができます。



音域表

ピアノの鍵盤とくらべてみると...



仕様

品番	仕 様		
	鍵盤数	高さ x 間口 x 奥行(cm)	本体重量(kg)
S-27E	27	35 x 40 x 26	4.0
A-27E	27	35 x 40 x 26	4.0
T-27E	27	35 x 40 x 26	4.2
B-27E	27	35 x 40 x 26	4.3
S-32E	32	35 x 46 x 26	4.6
A-32E	32	35 x 46 x 26	4.6
T-32E	32	35 x 46 x 26	4.7
B-32E	32	35 x 46 x 26	4.8

保証と修理について

1. 保証

この製品の保証は、保証書によりお買上日より1年間です。尚、保証は日本国内のみ有効といたします。

2. 保証書は大切にしましょう

保証書は、弊社がこの製品をご購入いただいたお客様に、お買上日より1年間の無償サービスをお約束申し上げるもので。万一紛失なさいますと、保証期間中であっても実費をいただくことがございますので、必要に応じていつでもご提示いただけますよう保管してください。また、後々の修理に際しての機種の判別や、修理依頼店のご確認にもご利用いただけますので、保管期間が過ぎましても大切に保管してください。

ご相談窓口のご案内

製品の機能や取り扱いについては、最寄りのヤマハ特約楽器店、または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。修理については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-013-808

※全国どこからでも市内通話料金でお使いいただけます。

上記番号でつながらない場合は、右記番号におかけください。053-411-4744

営業時間：月曜日～金曜日10:00～17:00（土曜日・日曜日・祝日・センター指定休日を除く）

ホームページ：<http://jp.yamaha.com/support/>

※ 都合により、住所、電話番号、名称、URL が変更になる場合がございますが、あらかじめご了承ください。

3. 保証期間中の修理

保証期間中に万一故障が発生した場合には、お買い求めいただいた楽器店にご連絡ください。楽器店又はヤマハの技術者が調整修理いたします。

4. 保証期間後の修理

満1カ年の保証期間が切れると修理は有料になりますが、引き続き責任をもって修理をさせていただきます。

5. その他

ご依頼いただいたサービスについて、故障でないような場合には、点検代等の実費をいただきます。

YAMAHA

ヤマハ株式会社

静岡県浜松市中区中沢町10-1

メモ



R6 PO1604